

平成28年度「長崎県肉用牛改良推進委員会」開催

本県における肉用牛改良方針を検討するため「長崎県肉用牛改良推進委員会」が、7月26日に長崎市で開催されました。主な検討内容と承認事項は以下のとおりです。

1、平成28年度肉用牛改良対策事業方針

1) 種雄牛造成について

- ・ 産肉性と種牛性を兼備した県産種雄牛の計画的造成を基本とし、但馬系、気高系、糸桜系の三系統ごとに能力の高い種雄牛をバランスよく造成していく。特に、但馬系については、資質の向上に力点を置いた取組の強化を継続する。造成に用いる種雄牛は、県基幹種雄牛を主体とし、さらに県外種雄牛精液も活用しながら多様な種雄牛造成を図る。
- ・ 造成に用いる長崎県肉用牛改良増殖用優良雌牛（基礎雌牛）は、県下で60頭指定し、基礎雌牛以外の優秀な雌牛で、改良上必要と判断される場合はその産子も活用する。
- ・ 受精卵移植、DNA解析技術も積極的に活用する。

2) 直接検定について

- ・ 年間16頭の候補種雄牛（雄子牛）を購入し、年間6回の検定を実施する。
- ・ H27年度選抜牛（H28試験種付け実施）：西乃茂洋（茂洋－勝忠平）、忠敬35の8（美津照重－百合茂）、秀勝（菊福秀－安福久）、和彦栄（安平栄－安福久）、※補欠牛 大勝栄（安平栄－勝忠平）。

3) 現場後代検定について

- ・ 年間4頭の候補種雄牛（直接検定選抜牛）の産子を購入し、年間4セットの検定を実施する。
- ・ H28検定終了（予定）種雄牛：「勝乃幸」、「勇氣」、「茂晴23」、「弁慶3」

2、現場後代検定成績及び活用方針について

- ・ 「茂晴23」（糸桜系）、「勇氣」（但馬系）、「百合幸」、「勝乃幸」（気高系）の現検成績概要と今後の活用方針を検討。

3、種雄牛の繫養状況及び廃用計画

- ・ 廃用承認牛：「糸晴茂」、「安茂晴」、「和勝」

4、凍結精液の配布方針

- ・ 配布制限対象種雄牛：「平茂晴」
- ・ 「平茂晴」以外の種雄牛精液は、原則として各サブセンターからの利用希望本数に応じて配布
- ・ 県有種雄牛の県外での評価を早期に確立するため、検定終了後の若い種雄牛を中心として凍結精液の県外譲渡を積極的に実施する。ただし、県内の繁殖農家への供給に支障がないよう、精液の需給状況に応じ適宜調整する。

参考；

推進委員会メンバー

全国農業協同組合連合会長崎県本部	長崎県家畜人工授精師協会
長崎県畜産協会	長崎県受精卵移植研究会
全和登長崎県支部	
〃 県北支所	壱岐市和牛育種組合
〃 壱岐支所	北松地区 〃
〃 五島支所	五島 〃
〃 県南支所	
〃 長崎支所	長崎西彼農業協同組合
	長崎県央 〃
県農産園芸課	島原雲仙 〃
県畜産課	ながさき西海 〃
〃 農林技術開発センター	ごとう 〃
〃 肉用牛改良センター	壱岐市 〃
〃 県央振興局	対馬 〃
〃 島原振興局	
〃 県北振興局	
〃 五島振興局	
〃 壱岐振興局	
〃 対馬振興局	

*順不同